



アガパンサス

24期 主題聖句

2026年2月



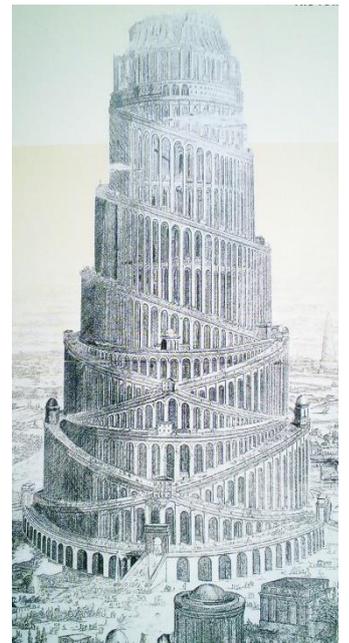
24期 東海教区女性会
発行責任者 柴田恵子

いつも喜んでいなさい。絶えずいのりなさい。すべてのことに感謝しなさい。

「なぜ、祈りは必要ですか」

清水・小鹿教会 牧師 笠井春子

かつて地上には一つの言葉しかありませんでした。きっと人々は違う国の文化や言葉を知る努力をすることなく生きていたことでしょう。やがて人々は、レンガを作るという技術を持ち、有頂天になり、てっぺんが天まで届くような塔の建設に着手します。神は思い上がる人間の姿をご覧になり、このまま放置することはできないと思われ人間が簡単に意思の疎通ができなくなるように、人間の言葉を混乱させて意思の疎通を止め、互いを理解できない状態にさせようと考えられました。神によって人々は全地に散らされ、民族ごと、原語ごとに分かれていきます。この時のレンガ造りの塔の名は「バベルの塔」と呼ばれました。創世記 11 章の 1 節から 9 節の「バベルの塔」のお話です。人間が神に創られたものとして生きるには、神との対話が必要です。人間は、神との対話において神に祈り、み言葉を聞くことで、自らが造り主である神の心に適った生き方をしているのか、どうかを省みることができます。



神はこうしたことができなくなった人間を、憐れられました。神は私たちを、自分には分からない相手をなんとか理解し、信頼関係を築くために自らの思いを伝える、そんな働きをするものに作りかえられようとされたのです。それは、人間が神との対話を取り戻し、神との関係を生きる者へと変えられていくことでもあります。

神は人間同士の対話を忘れないようにさせ、さらに神との対話、祈りを、忘れてはならないことを呼び起こしたのです。このことは、この箇所に出てくる「降る」という言葉からも分かります。5 節には「主は降って来て」7 節には「降って行って」とあり 2 回も降ってくるということが書かれています。人間が文明の力を駆使して、自分の名を上げるために創り上げ、天にまで届くようにと作ろうとした塔でしたが、神の方はそれを見るために、はるか彼方の上の方からわざわざ降りてくるのでした。神は降り散らし、そして人と神との関係を再び結ばれます。神が最も低いところまでやってくる、それは、主イエスがこの地上に来られたことと繋がっていきます。

神はどれほど私たちとの対話を求められていることでしょうか。関わりたいと思われていることでしょうか。私たちの祈りの必要、それは、私たちが他者を知ることができるようにと、そのことによって神と関わり続け、祈り続けることができるようにと、私たちが憐れまれた神の求めの故なのです。



富士教会 2025年9月23日 アガパンサス祈禱会&お茶会

「祈りがあなたに届くとき ～かみさま、あのね～」

みなさま、こんにちは。

堀江 志衣

本日は、このような貴重な機会をいただき、
心より感謝申し上げます。

私は、今年の3月まで教員として38年間務めておりました。新任として中学校に着任したころは、昭和の終わりでした。それから平成、令和と3つの元号に渡って学校で子どもたちと生活をして、最後は小学校の校長として現場を終えました。

教会へは11歳の時に導かれ、17歳で山本裕牧師より洗礼を受けました。私は、両親と2人の妹と5人暮らしてました。当時は家庭内の不和により苦勞も多く、子どもながらに様々な思いを抱きながら成長してきましたが、牧師先生はじめお母さんのような教会の方々「あなたは大事な存在である」と、どんな時にかみさまの御言葉を伝えてくださいました。そのような私が、その後教員となりました。かみさまのことをたくさん教えていただいた私がどのような教員人生を歩んだのか、聞いていただけたら幸いです。

私が着任した昭和の頃に見せる生徒たちの姿は、現在とは大きく異なるものでした。当時は、中学校が荒れた時代で子どもから大人になっていく過程で通過せざるを得ないそれぞれの心の葛藤と付き合いしていく教員は、まさに戦いでした。平成になってもその流れは変わらず、暴力行為や、器物破損、シンナーやバイクの無免許運転といった犯罪行為も頻繁に起きそうといった生徒たちと向き合うのは教員として当たり前でしたが、親御さんたちはじめ多くの大人が協力し合いながら生徒たちの成長を見守る時代でした。

そういった意味では、心を傾けなければならない対象が、一番大事な「生徒たち」であった時代でした。近年は社会が複雑で、大人であっても「何が正しいのか、どうすべきなのか」を求め続け、様々な考え方が交差して協力体制ができにくい状況だと思います。

私自身は、息子と娘の二人の子どもを育てました。中学校で担任をしていた頃は、自分の子どもが小学生と保育園児で育児が大変な時期でもありました。何をしても何を伝えても思う姿にならない学級の生徒たちに腹が立ち、「私がこんなに大変な思いをしているのに、どうしてこんなことも分からないのか」と、怒りだらけの姿で向き合っていたと思います。本当は、一番困って苦しんでいたのは、生徒たちだったはずですが、当時の私は教師として未熟だったということです。あの頃は、何度退職しようと思ったかしれません。学校への行き帰りの車の中で(しか泣けないので)、わんわん泣きながら「かみさま、あのね」と愚痴や怒りを聞いていただき、祈りました。生徒たち一人一人とのエピソードは数えきれないほどあるのですが、ここでは結論だけお伝えします。何を言っても何をしても反社会行動が続いた生徒たちは、それでも3年間で大人になっていき、先生たちが必死に向き合ってくれたことを感じてくれていました。卒業式では、最も手を焼いた生徒たちが「卒業したくない」と泣きながら、お世話になった先生たち一人一人の前に行って、深々と頭を下げ「ありがとうございました」と出ていきました。私を最も困らせた生徒は「俺に子どもが生まれたら、お前にあずけたい」と偉そうな口をたたいて出ていきました。私は、この時の経験のおかげで最後の校長職までまっとうできたと思っております。先生という立場のあるべき姿を、体験を通してこの子たちが教えてくれたからです。

長い教員生活の中では、子どもが面している過酷な家庭状況とも出会います。詳細を表現できないのですが、特定できない程度にあるエピソードお伝えします。その子は、母子家庭であり、母は余命を宣告されていました。母はクリスチャンでした。私は頻繁に家庭訪問をし共に祈り、母の苦しみを感じながら過ごす日々でした。時には、母がその不安や苦しみに耐えられず夜中に電話をしてくることもあり、電話を通して

一緒に祈ったことを覚えています。母の体調が悪化し、その子の保護施設に入る準備がなされ始めました。入所施設はどこもいっぱい、県を隔てたとても遠い場所しかないとのことでした。私はこの子が、母と離ればなれで最後を迎えるのは嫌だ、と行政の方に伝え、必死にかみさまに祈ったのです。しばらくすると「ちょうど1部屋あきました。前例はないのですが…そういう事情なら協力しましょう」と私が勤める校区内にある老人の方の入所施設を一部屋貸して下さるとの話がやってきました。1か月ほどでしたがこの子はこの施設で母と一緒に過ごしました。施設スタッフの方に宿題を見てもらったり、お手伝いをさせてもらったりしながら学校に通い続けることができ、母の最期を看取ることもできました。施設長の方から「母と暮らした場所で、1週間だけでも過ごして心の整理をさせてあげたらどうですか」というありがたいお申し出がありました。お言葉に甘えその子はしばらくそこで過しながら心の区切りをつけて、笑顔で次の場所へ移っていきました。このように、子どもたちとの38年間には、「かみさま、あのね」と聞いていただく中で、多くの奇跡がありました。

さて、時代の変化と共に人々の物事のとらえ方や価値観も変化してきて、子育ての在り方も様々です。どれが正しいということは一概に言えませんが、どんな時代であっても、誰から生まれても、どの子もかみさまから預かった大事な存在であることは間違いありません。そのために、国や社会や全ての大人たちが、子どもを健やかに育てていくためにどうあるべきかを、自分事としてとらえて生きていく必要があると思います。私は教職に就きましたが、国家資格である公認心理師の資格も保有していますので、退職後は、週2日ではありますが、カトリックの幼稚園で園児たちの療育活動や保護者の方及び保育に携わる方とのカウンセリングをしています。長年教員として過ごす中で、「たとえ生まれもった課題があったとしてもその子らしく幸せに生きていってほしい」「そのためには、養育者が安心して子育てを営む環境づくりが最も必要」だと感じてきました。今は与えられた幼稚園という場で、私らしく子どもたちと過ごそうと思っています。

私の好きな聖句は「かみさまのなされることは、すべて時にかなって美しい」です。心からそう思えます。「かみさま、あのね」と語りかけ、その都度苦労も喜びも必要な力も与えてくださったかみさまの願われる道を、これからも歩もうと思っています。

本日は、私のつたない話にお付き合いいただき、ありがとうございました。



左上(当日朝の富士山)



下(集合写真)

富士教会へ招いてくださった方々の声・聖餐式の様子をお伝え



私にとって久しぶりの女性会でした。現在富士教会は牧師不在の教会です。教会女性会会長の清水真理子姉はお仕事や教会代議員もされて超多忙な日々の中で悩まれたことでしょうか、引き受けてくださいました。23日を楽しみに待っていた私を迎えてくれた懐かしい顔、顔、顔。金指 さーんとハグハグの大歓迎と教区役員さんや清水姉、少ない人数の富士教会女性会から心込めたウエルカム抹茶とお菓子が待っていました。たくさんの友と光延先生と会長から配餐をしていただき、午後からは高蔵寺の姉妹からのお証し。素晴らしい集会でした。富士教会の男性軍の送迎の協力は力になりました。参加して改めて感じたことは少子高齢化（私自身も85歳になりました）が進み女性会も厳しい状況を迎えます。けれども地域を超えた女性会の集まりは、一体感を生み育て、人と人の繋がりを強くするように思います。そしてまた、私はこれから更なる老いに向かうことが楽しみになったような気がして居ます。最初から最後まで神様のご臨在を感じた一日でした。皆様またお会いしましょう。 富士教会 金指恒子



アガパンサス祈禱会を、富士教会で開催することができ、感謝いたします。富士教会での開催は何十年ぶりかと思えます。私は祈禱会の出席が初めてなので、未知の世界でした。役員の方々の素晴らしい働きで次から次へと進み驚きました。祈禱会では堀江志衣姉の教育現場の経験が熱く語られ感動するとともに、多くの出席者が感動する姿に感銘を受けました。そして祈禱会のために遠くの方も含め多くの方が富士教会に来てくださったことに、感謝いたします。教会が50名余りの人で、いっぱいになっていることに、力をいただいた気がします。最後になんと言っても富士山を見ていただけたことを、嬉しく思います。



感謝、感謝です。 富士教会代議員 清水真理子

東海教区 婦人会会長通信から

2004年1月「アガパンサスが誕生」して、
今年、22年目を迎えました！



婦人会連盟東海教区 婦人会会長通信

アガパンサス

第1号

2004年1月

会長通信の名称を変更しました。

役員会において会長通信の名称変更について話し合い、「アガパンサス」と名付けました。アガペーアンス・愛の花として庭植えも出来、東海教区内ならどこでも見られる花ですが、力強く地面に強い根を張り、地面を覆う緑の葉、凛と伸びた茎に数10個の薄紫の花が集まって咲くその姿は、気品が漂い円を描いて八方に花姿を見せ、一本の茎から、放射状に咲く姿は、教区の個性ある一人ひとりを思わせます。

神様の強い茎に支えられて咲く花の一輪々々は、外に目を向け、喜びを伝える私達の姿に似ていませんか。「アガパンサス」を育て、支えてくださいますようお願い申し上げます。

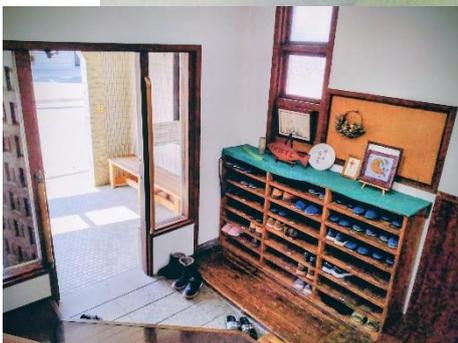
主題聖句

大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく
成長させてくださる神です。

コリント1 3:7

会員の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。手探りながらも役員会は少しづつ、顔を見ながらの親しい話し合いを持ち始めました。2004年には全地域に足を伸ばして、お一人おひとりの会員の皆様との関わりを深めて行きたいと考えています。

各教会のご都合や予定を伺いながら役員会との日時を決めて行きたいと思います。皆様と作っていく教区ですので、積極的に一人ひとりの思いをお聞かせいただきたいと存じます。



先人の祈りが、今も、私たちの中に、生きています。

2026年も、感謝して、共に歩ませてください。

浜名教会 2025年7月3-4日

アガパンサス修養会 & 親睦会

～ 講演会ありがとう メール ～

いぶき 施設長 刑部 隆一

「昔は、大変だった。こんな苦勞をしてきました。」
このような話は、職場でしないようにしています。
最近の若者は、先輩のそのような話には興味がなく、
嫌がられるパターンが多いとききます。

今回のふくしむらディは、新しい事業、現在の
デンマーク牧場の話から昔話、こどもの家、フリー
スクール時代の苦勞話も是非話して欲しいとリクエストされました。早朝からの搾乳や乳製品製造
業務、脱走する牛達とエネルギッシュな若者達！すこし懐かしい話もさせていただきました。参加
者の中には、旧こどもの家での食事会や、わいわいワークに参加されていた方もおり昔を懐かしみ、
「刑部さん頑張ってるよ」「偉いよ」と認められ、褒められて、エネルギーをいただきました。この
歳になると、認められることも少なく、ちやほやもされないため、とても居心地の良い空間でした。
お声掛けいただき、ありがとうございました。

今回、いぶきの羊毛製品の販売もしていただいたのですが、こちらも大好評でした。羊毛製品は、
羊を育て、毛を刈り、洗い、染色して、ごみを取り、やっと製品を作る段階になります。簡単そう
に見られますが、いぶきの利用者が、ほぼ手作業で仕上げている努力の結晶なのです。商品が売れ
れば、自分たちの仕事が認められたとモチベーションが上がり、売り上げは彼らの工賃となります。
デンマーク牧場は、牛乳、アイスクリームなど商品としては良い物を作ってきたのですが、どうも
営業が苦手で、それが課題だと昔から言われてきました。羊毛製品についても、質が良いからもう
少し売れそうなのに、とよく言われます。いぶきでも、販売、営業の努力はしていきますが、教会、
教区女性会の方々から、今後ご協力をいただければ幸いです。

新しい商品も作っていきますので、ご期待ください。

少しだけ、お知らせ
デンマーク牧場の乳製品
アイスクリームの販売を
以前は FAX にて注文して
いただいていたが、
最近は通販サイト PIPPO
(ピッポ) を通しての販売
とさせていただいております。
こちらは、全国の福祉作業所
の販売サイトになります。

ご希望される場合、
PIPPO と検索していただき、
サイトから注文が可能です。



浜名湖を見下ろしながら、
親睦会には12名の方が参加。
2日間を共に過ごしました。
何よりも、主にある交わりが
許されたことに感謝します。

東海教区女性会から、
 手作りのクリスマス🎄カード
 心をこめてお届けしました。



ディアコニア 眞野純一施設長 まきばの家 伏見進吾施設長

クリスマス祝会のご報告

今年のクリスマス祝会は、12月19日(金)に、玄関ロビーを会場にして開催されました。東海教区女性会の皆様が製作して下さったクリスマスカードを入居者の皆様・在宅サービスの皆様にお配りしクリスマス祝会の開催をお伝えしました。女性会の皆様には毎年、クリスマスカードをいただき心から御礼を申し上げます。クリスマス祝会は、渡邊チャプレンの祈りメッセージで始まり、地元のゴスペルグループの熱唱で大いに盛り上がり、サンタからプレゼントをお渡しして、皆様が笑顔になるというバッチリな流れで進行。クリスマスにふさわしい温かい空気が流れる素敵な会になりました。 眞野純一



東海教区女性会の皆さまへ(クリスマスカードご寄贈へのお礼文)

12月24日、小学6年生以上のこどもたちは、毎年恒例の新霊山教会のイブ礼拝に参加してきました。イブ礼拝に参加したこどもについては、例年、礼拝から帰宅後にクリスマスプレゼントを手渡ししているのですが、今年は「枕元にプレゼントを置いてほしい」という中高生が多かったため(幼少期に、そういった経験がない環境だったかもしれません)要望に応じて、みんなが寝静まった後、スタッフが枕元にプレゼントを置きに、各居室をまわりました。万が一こどもが、目を覚ましてしまったときに、夢を壊さないために、しっかりサンタの服装をして…。

翌朝、こどもたちは、いつもより1~2時間ほど早く目覚めて(スタッフはプレゼント配りで寝不足のため、本当はもっと寝ていてほしいと思っていることは内緒です)、自慢気にプレゼント、お菓子、東海教区女性会の皆さまからいただいたクリスマスカードをお互いに見せ合っていました。早速、クリスマスカードを部屋に飾るこどももいました。

それぞれのこどもにとって、今年もまた特別なクリスマスになりました。 伏見進吾

24期 担当教師・他役員から皆さんへ 感謝のごあいさつ

社会・奉仕部長（教区女性会担当） 光延 博



教区女性会担当をさせていただきとても幸せでした。「見よ、きょうだいしまいが共に座っている、なんという恵み、なんという喜び♪」神様の福音を、どのように共有し味わい、みなで一緒に人生を豊かにできるんだろうかと、祈りつつ役員さんたちが一生懸命に考えて、教区の女性会の皆さまと一緒に過ごせて、久しぶりに会えて嬉しいなあと、たましいを交流しておられる神様の恵みと祝福を、そのお働きを見させていただけたからです。

慈しみ深い大きな神様に包まれて弱い者・小さな者どうし、弱さ・小ささで、主に在ってつながっているのだなあと真実を見させていただきました。

これからも神様は祝福してくださいませ。

書記 服部 典子

18期にも書記をさせていただきました。なんちゃって書記です。ここにこうしていられるのは、本当に、3人の役員の方々はじめ、多くの皆様のおかげです。

18期は約20年前です。不思議なことに、主題聖句は24期と同じでした。でも、20年前に比べると自分も変わりましたが、世の中もずいぶん変わってきたように思います。

変わらないのは神様のおおいなる愛と聖書のみことば。それから、女性会主催の集会にはいつも聖霊の力が働き、素晴らしい集まりになること。2026年もたくさんの兄弟姉妹にお会いして共に祈り、讃美歌を歌い、語り合い、励まし合いたいです。

会計 佐々部 典子

教区の役員2年目は静岡教会での女性会の集いから始まりました。この集いで、自分の教会の三浦慎里子先生に開会礼拝のお説教をお願いしたことで静岡まで同行する機会をいただきました。お話をしたり食事を共にしたりする中で、先生との距離を縮めることができ

とてもうれしい一日となりました。その後のみのり教会での生活にとっても大きな意味のある時間となりました。他教会への行事には行きたくても行けない方が増えつつありますが、そういう方へは教区での様子をお伝えしつつ教区女性会のためにお祈り下さいとお願いしてきました。役員3年目の今年は、すべてのことに感謝しつつ、与えられた仕事を進めていけたらと思っています。

連盟 室原 紫音

教区でも連盟でも頼もしい人生の先輩方に支えられ、末っ子気質の私は気兼ねすることなく関わらせていただいています。今年度、教区では集会を中心に活動し女性会会員の垣根を超えた幅広い方々との交流をもつ機会が与えられました。

連盟では、全国の教区役員と協力委員が東京の市ヶ谷センターで役員研修会を行い、信仰を深める学びなどを通して今後の女性会について意見を交わしました。活動でのハプニングに対しては気が気でないときもありましたが、心にいつも「数えてみよ 主の恵み♪」の讃美歌を讃美しすべては主の恵みの内にある、と確信をもって過ごせました。感謝な1年でした！



2025年2月24日 静岡教会 『東海教区女性会の集い』

(^▽^)(^▽^)(^▽^)(^▽^)(^▽^) 笑顔いっぱいではじめました (^▽^)(^▽^)(^▽^)(^▽^)(^▽^)



そして、2025年11月3日 名古屋めぐみ教会にて
『第1回 東海信徒フォーラム』開催されました。



〈著者略歴〉

文・片柳弘史 (かたやなぎ・ひろし)



1971年埼玉県上尾市生まれ。1994年慶應義塾大学法学部法律学科卒業。1994～95年コルカタにてボランティア活動。マザー・テレサから神父になるよう勧められる。1998年イエズス会入会。2008年上智大学大学院神学研究科修了。現在は山口県宇部市で教会の神父、幼稚園講師、刑務所の教誨師(きょうかいし)として働く。「こころの深呼吸～気づきと癒しの言葉366」「やさしさの贈り物～日々寄り添う言葉366」(いずれも教文館)が第8回及び第11回キリスト教書店大賞受賞。「世界で一番たいせつなあなたへ～マザー・テレサからの贈り物」「何を信じて生きるのか」(いずれもPHP研究所)など著作多数。全国放送のラジオ番組「心のともしび」原稿執筆者。

- 片柳神父のブログ「道の途中で」
<https://hiroshisj.hatenablog.com/>
- X (旧ツイッター @hiroshisj) やインスタグラム、facebook からも情報を発信しています



教会の玄関を入ると受付では温かいお出迎え。再会を喜ぶ人々の声が溢れていました。礼拝堂にはすでに大勢の方々が椅子いっぱい。この教会は私にとっては特別な場所、幼少期に過ごした教会であり、青年会の皆さんに育てられた記憶がよみがえってきました。今では私も還暦を過ぎましたので皆も同様に歳を重ねられました。でも、今なお教会を支える頼もしい存在方です。帰りに片柳神父の本を購入。「あなたはあなたのままでいい」と励まされ嬉しく帰路に着きました。

東海教区女性会 活動報告

～2025年度聖句「絶えず いのりなさい」～

2026年2月

① 役員会及び活動報告

24期 東海教区女性会会長 柴田 恵子

日付	活動内容	会場	出席・参加者人数
2025年			
2月24日	東海教区女性の集い 第5回 役員会	静岡教会	50名出席 5名出席（役員4名/社会奉仕部教師1名）
4月17日	第6回 役員会	復活教会	5名出席（役員4名/教師1名）
4月29日	「ふくしむらホリデー」 デンマーク牧場・環境整備	新霊山	65名参加（教区女性会メンバー合流）
6月 5- 6日	連盟合同役員会(東京)	市ヶ谷教会	教区役員4名出席（全参加者30名）
6月 5日	第7回 役員会	市ヶ谷	4名出席(宿泊場所にて)
7月 3- 4日	アガパンサス修養会&親睦会 浜名湖畔温泉1泊2日(有志) 第8回 役員会	浜名教会	21名出席 (内12名参加) 5名出席（役員4名/教師1名）
9月22日	第9回 役員会	富士	6名出席（役員4名/教師1名/講師）
9月23日	アガパンサス祈禱会&お茶会	富士教会	36名出席
11月 3日	第1回 東海信徒フォーラム	名古屋 めぐみ教会	126名出席（教区女性会メンバー合流）
12月上旬	クリスマス🎄カード作成依頼	各教会にて	12/18デンマーク牧場福祉会へ贈る(143枚)
2026年			
1月 6日	第10回 役員会	挙母教会	5名出席（役員4名/教師1名）
1月11日	2025年度会計監査	栄光教会	4名(会計監査・代行1名・会長・会計)
2月23日	アガパンサス感謝の集い	挙母教会	アガパンサス感謝の集い(会報2号配布)

追記. 会計監査代行選出；渡邊直美姉が第2子出産と重なったため、監査を金高美江子姉に依頼、承諾。

② 2025年度の『祈り』の取り組み、振り返り

*夏の浜名教会及び秋の富士教会においては、通常アガパンサスの集いを開催することのない

会場(教会)を選択した。参加者にとっては遠方となったが、温かいもてなしと交わりを通して

足を伸ばしたからこそ得られる美しい景色を堪能。地域教会を覚え、共に祈る機会が与えられた。

*浜名湖には旧こどもの家時代から働いてきた刑部隆一氏を「ふくしむらディ」企画と共催し招く

ことが許された。教区から講師謝礼、福祉会から講師交通費補助を受けた。そのため席上献金は、

全額「いぶき」への指定献金として捧げられた。新霊山教会女性会会員(最年少)の柴田光さんは

いぶき作品(羊毛製品)を多くの会場で精力的に販売。タラントを神さまに用いられて、感謝。

*富士教会においてお話しいただいた堀江志衣姉からは、現役を引退したばかりの「フレッシュな

現場の声」を届けていただいた。報道では伝えられない教育現場の現状を知り、祈りの課題を

さらに与えられた。新時代の子もたちに、神さまの守りが豊かにありますように。

③ 天国に召された愛する姉妹を覚えて

2025年度 正会員数 126名 / 準会員 2名
(教区女性会加入 19教会 / 休会 3教会)

2025年度東海教区女性会決算書および2026年度予算案

東海教区女性会会計 佐々部典子

款	項目	25年度予算	25年度決算	26年度予算(案)	備考		
[収入の部]							
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	312,000	327,600	319,800	2,600円×126名(2025年度会員数126名)	
		連盟会費(準)	0	5,200	0	2,600円×2名(2025年度準会員数2名)	
		会報購読料	25,000	23,500	22,500	500円×47名	
	小計(a)		337,000	356,300	342,300		
	指定献金	連盟献金(b)	40,000	28,800	30,000		
		支援献金	感謝献金	70,000	62,900	60,000	
			ルーテル神学校神学生	60,000	70,700	80,000	
			リーストコイン	40,000	83,383	40,000	
			ACWC支援献金	30,000	23,300	30,000	
			TNG支援	50,000	51,700	50,000	
小計(c)	250,000	291,983	260,000				
合計A (a+b+c)		627,000	677,083	632,300			
教区	会費	教区会費(正)	192,000	201,600	196,800	1,600円×126名	
		教区会費(準)	0	3,200	0	1,600円×2名	
	小計(d)		192,000	204,800	196,800		
	総・大会役員 旅費積立金	当年積立額	24,000	25,200	24,600	200円×126名	
		総大会旅費積立繰入	0	0	0		
	小計(e)		24,000	25,200	24,600		
	補助金	小計(f)	0	0	0		
	その他	利息	0	1,241	0	内訳:一般391円、旅費積立850円	
		雑収入	0	0	0		
	小計(g)		0	1,241	0		
特別献金	席上献金	50,000	19,400	40,000	7/4アガパンサス修養会席上献金いぶきへ		
	指定献金	0	158,320	70,000	2/24 女性会の集い47,220円、9/23 祈禱会40,100円、4/26刈谷教会5,000円、個人献金50,000円他		
	小計(h)	50,000	177,720	110,000			
支援献金	次世代育成支援	40,000	47,000	40,000			
	デンマーク牧場福祉会	70,000	79,500	70,000			
	あゆみの家	50,000	44,000	40,000			
小計(i)		160,000	170,500	150,000			
前年度繰越金(j)		266,096	266,096	169,061			
合計B (d~j)		692,096	845,557	650,461			
合計 (A+B)		1,319,096	1,522,640	1,282,761			
[支出の部]							
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	312,000	327,600	319,800		
		連盟会費(準)	0	5,200	0		
		会報購読料	25,000	23,500	22,500		
	小計(a)		337,000	356,300	342,300		
	指定献金	連盟献金(b)	40,000	28,800	30,000		
		支援献金	感謝献金	70,000	62,900	60,000	
			ルーテル神学校神学生	60,000	70,700	80,000	
			リーストコイン	40,000	83,383	40,000	
			ACWC支援献金	30,000	23,300	20,000	
			TNG支援	50,000	51,700	50,000	
小計(c')	250,000	291,983	250,000				
合計A' (a'+b'+c')		627,000	677,083	622,300			
教区	活動費	事務費	60,000	61,032	63,000	アガパンサス印刷代、事務用品	
		通信費	30,000	1,100	10,000	郵送料金	
		役員会費	100,000	16,484	35,000	会場使用料と交通費	
		集会費	200,000	361,250	300,000	女性会集いの交通費、奉仕牧師・奉仕者・役員含む昼食代、会場使用料、謝礼菓子代等	
		会長旅費	15,000	15,180	15,000	沼津教会、富士教会訪問時の交通費	
		慶弔費	10,000	0	10,000		
		雑費	4,000	5,500	5,000	アガパンサス印刷所への御礼菓子	
	小計(d')		419,000	460,546	438,000		
	総・大会参加費用	小計(e')	0	0	0		
	支援金	特別支援金	50,000	19,400	40,000	7/4アガパンサス修養会席上献金いぶきへ	
次世代育成支援		50,000	47,000	40,000			
デンマーク牧場福祉会		70,000	79,500	70,000			
あゆみの家		70,000	44,000	40,000			
小計(f')		240,000	189,900	190,000			
予備費(g')		9,096	0	7,861			
積立金繰出	役員旅費積立金繰出(h')	24,000	26,050	24,600	受取利息850円		
次年度繰越金(i')			169,061				
合計B' (d'~i')		692,096	845,557	660,461			
合計(A'+B')		1,319,096	1,522,640	1,282,761			

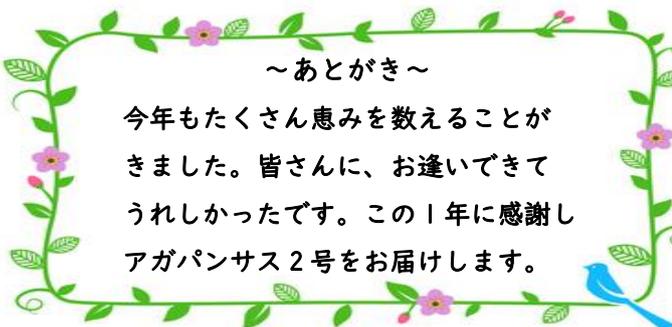
ご報告 2026年1月6日役員会にて予算が承認されました。また、1月11日会計監査で2025年決算の承認を頂きました。感謝をもってご報告致します。会計 佐々部典子

2026年度 聖句 「すべてのことに 感謝しなさい」

星野富弘氏のことばより



私たちは、最終年度の3年目をスタートしました。
2026年の聖句は「すべてのことに 感謝しなさい」です。
主題聖句を味わいながら今年度も、ともに喜び、ともに祈り、
何よりも笑顔 (^▽)(^▽)(^▽)(^▽) で、神様に感謝しつつ、歩んでまいりたいと思います。 教区女性会一同



東海教区女性会会報 24期 第2号

発行人 日本福音ルーテル教会女性会連盟 東海教区女性会

発行日 2026年2月23日 発行者 柴田恵子 印刷 平山印刷出版



2026年 <これからの予定>

3月26日 第11回役員会 於：みのり教会

4月29日 ふくしむらホリデー

教区*福祉会共催：教区女性会合流

6月上旬 教区役員研修会・第12回役員会
於：新霊山教会

10月12日(月・祝)

アガパンサス講演会 於：栄光教会(藤枝)

2027年2月23日(火・祝) 第25回 定期総会



第27回 女性会連盟 総・大会

<日時> 2027年6月3日(木)~4日(金)

<会場> 総会：日本福音ルーテル大阪教会

大会：ホテル プリムローズ大阪

*ぜひ、予定に加えてください。